

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科(昼間部)		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	社会保障とリハビリテーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金曜4限	教室名	4校舎401
担 当 教 員	酒井 崇	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
言語聴覚士を中心として、リハビリテーションの概要を理解する。						
《成績評価の方法と基準》						
学期末試験(筆記)において60%以上の得点をもって合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
標準言語聴覚障害学「言語聴覚障害学概論」 言語聴覚士テキスト 適宜プリント配布						
《授業外における学習方法》						
随時、授業の最初に前回授業内容に係わる確認テストを行うので、復習しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》						
リハビリテーションの定義、歴史についての理解を深め、一緒に学んでいきましょう。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの概念・理念・定義を理解し、説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	配布資料で該当項目を調べ、専門用語に触れる。	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーションの概念・理念・定義について学ぶ。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	健康と障害の概念と分類を理解し、説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	健康・疾病・障害、ICIDH、ICFについて学ぶ。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の心理的・社会的視点を理解し、説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	障害の心理について学ぶ。			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーション過程を理解し、説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	リハビリテーション過程について学ぶ。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	リハビリテーションの諸段階を理解し、説明することができる。	教材、 配布資料、 スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと	
		各コマにおける授業予定	各リハビリテーションの段階について学ぶ。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標 リハビリテーション専門職種とチーム医療について理解し、説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	各専門職の役割、リハビリテーションの流れについて学ぶ。		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標 実際のリハビリテーションを理解し、説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	バイタルサイン①について学ぶ。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標 実際のリハビリテーションを理解し、説明することができる。	教材、配布資料、スライド	事前学習として該当頁を通読しておくこと
	各コマにおける授業予定	バイタルサイン②について学ぶ。 これまでの振り返り		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標		
	各コマにおける授業予定			